



おおや



9月号 R8.9.1

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者
校長 湯本 貴幸

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

学校は「失敗していいところ」

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。久しぶりに子供たちの元気な声が学校に戻ってきたことを、うれしく思います。夏休みの間に、家庭や地域でさまざまな経験をし、成長した子供たちの姿を楽しみにしていました。1学期の終業式は、「小さなことでも、毎日コツコツ続けることで、大きな力になる」という話で締めくくりました。何か一つでも継続できたことがあれば、ぜひご家庭で大いにほめてあげてください。

さて、2学期は、学習や行事、友達との関わりなど、多くのことに挑戦する学期です。新しいことに挑戦すれば、思うようにできなかつたり、友達と気持ちがぶつかったりすることもあるでしょう。

私は、学校は「失敗していい場所」であってほしいと思っています。間違えたからこそ、「次はどうすればよいだろう」と考え、工夫したり、誰かに助けを求めたりすることができます。失敗は終わりではありません。そこから学び、やり直すことで、自分自身を成長させる機会になります。

だからこそ、学校では、「失敗しないこと」だけを求めるのではなく、安心して挑戦できること、失敗してもやり直せること、困ったときに相談できることを大切にしていきます。

子供たちには、「学校は、頑張っているときだけ来る場所ではない」ということも伝えていきたいと思います。元気が出ない、勉強が分からない、友達との関係に悩むなど、さまざまな理由で学校に行きたくないと思う日があってもいいのです。そんなときは、一人で抱え込まず先生や家族、身近な大人に相談してほしいと思います。「ちょっと困っています」の一言から大丈夫です。

学校には、担任や学年の教員、養護教諭、管理職など、子供たちの話を聴き、支える大人がいます。子供たちが安心して相談できる環境を、教職員一同でつくってまいります。

また、保護者の皆様には、子供たちの様子を日々見守る中で、少しでも気になる変化がありましたら、遠慮なく学校にご相談いただきたいと思います。学校と家庭が一緒になって子供たちを支えていきましょう。子供たちが「やってみよう」と一歩を踏み出し、失敗しても「もう一度やってみよう」と思える学校を、教職員一同でつくってまいります。

失敗しても大丈夫。困ったときは、一人で抱えなくて大丈夫。

今学期も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

「もしも」に備える

9月1日は「防災の日」です。熊本地震をはじめ、近年は全国各地で地震や大雨による災害が発生しています。千葉県などでも、豪雨による大きな被害がありました。

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、「もし、今、災害が起きたらどうするか」を日頃から考えておくことが大切です。学校でも避難訓練を通して、自分の命を守る行動について考えていきます。